

皆さん、こんにちは。福山大学経済学部国際経済学科4年生のグルング・ブラタップです。

このたび、**(株)西部運輸に就職することになりました。**

福山大学での四年間は、知識を学ぶだけでなく、多くの人と出会い、さまざまな経験を積むことができた時間でした。その経験が、私が日本で就職したいと考えるようになった原点でもあります。

まず日本語能力を高めたいという思いから、福山や広島で開催された日本語スピーチコンテストに挑戦しました。多くの人の中で自分の考えや経験を日本語で伝えることは簡単ではありませんでしたが、その経験を通して、相手に伝わる話し方や表現の大切さを実感しました。



【三度目の挑戦について、2023年広島キワニスクラブ主催「留学生日本語スピーチコンテスト」にて優秀賞を受賞】

また、英語スキルを活かし、地元中学校の英語活動に継続的に参加しました。生徒たちと直接対話する中で、異文化への関心を高めてもらうと同時に、地域と留学生をつなぐ架け橋になれたことを嬉しく思っています。



【毎年盈進中学校の「A Whole Day English」に参加し、英語活動を通して生徒たちと交流を続けていた】

大学という象牙の塔から一歩外に出て、将来の社会参画を見据え、2023年には「Stash Fukuyama」プログラムに参加しました。地域の方々や企業の皆さまと協力しながら活動する中で、留学生として外から日本を見るだけでなく、地域の一員として内側から考える経験を得ることができました。福山の課題について話し合う中で、私もこの社会の一員として役に立ちたい、将来は日本で就職し、地域に貢献したいという気持ちが芽生えました。



【Stash Fukuyama 2023 の活動の様子】

さらに、広島留学生大使（Hiroshima Study Abroad Ambassador Program）として活動し、広島の魅力や平和の大切さを自分の言葉で発信しました。私自身が広島で多くを学んだからこそ、もっと多くの留学生に広島に来てもらいたいという思いが強くなりました。多国籍の学生と交流する中で、自分の視野も広がり、将来は国や地域をつなぐ存在として社会に関わっていきたいと考えるようになりました



【広島留学生大使として着物体験に参加した際の様子（左から1人目）】

加えて、大学主催の「留学生による異文化講座」で講師を務め、地域の方々にネパール語やネパール文化を紹介しました。これまで日本文化を学ぶ立場でしたが、自国の文化を伝える立場になったことで、改めて自分の国を見つめ直す機会にもなりました。参加者の皆さんが熱心に耳を傾けてくださり、「ネパールに行ってみたい」と声をかけてくださったことが、とても嬉しく、心に残っています。



【講座終了後、参加者の皆さんが懇親会を開いてくださいました】

福山大学で多くの挑戦の機会をいただき、ロータリー奨学金をはじめとする温かいご支援にも恵まれました。先生方、職員の皆さま、そして共に学んだ日本人学生・留学生の皆さんに、心より感謝申し上げます。福山大学で過ごした四年間に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。